

## 【別冊 3】

# テント基地・集合場所の 運営

テント基地・・・・・・・・P1

集合場所・・・・・・・・P7

## 【テント基地】

テント基地は、発生農場周辺に設置し、農場内の防疫作業を指揮・支援する

### 1 対応班・係

- ・ 県防疫対応班発生地係(家畜防疫員)
- ・ 家畜防疫連絡調整員
- ・ 現地防疫対応班テント基地係(現地応援隊含む)
- ・ 現地保健班

#### (1) テント基地の設営

- ア ウイルスの拡散防止に必要となる発生農場におけるゾーニング(清浄ゾーン・ グレーゾーン・汚染ゾーンの区域分け)を行い、テント等資機材の配置場所を確認する。
- イ 汚染ゾーンからの出口(防疫作業従事者用、重機等車両用)は、必ず消毒設備を設置する。
- ウ 防疫作業従事者が到着するまでに設営を完了する。
- エ 複数個所で殺処分、埋却等の防疫作業を実施する場合は、各箇所に対して適切な指揮・支援が行われる体制を構築するよう柔軟に対応する。
- オ 天候の状況、地面の状態により、テントの横幕の設置、地面にパレットやコンパネを敷く等の対応を行う。

#### (2) テント基地内に設けるエリア

テント基地は清浄ゾーンとグレーゾーンに区分される。まん延防止および作業に従事する者への感染防止が確実かつ円滑に作業が実施されるよう、各ゾーンに必要なエリアを配置する。

各エリアにおいては農場規模、防疫作業従事者の人数等を考慮してスペースを確保し、必要に応じたテントを設置する。

#### ア 清浄ゾーン

##### (ア) 本部テント

テント基地全体を運営・指揮する事務所。防疫作業の進行状況等の管理、現地対策本部等との通信などを行う場所。

##### (イ) 防疫資機材保管エリア

防疫作業に必要な防疫資機材の保管・管理を行う場所。

##### (ウ) 防護具の着衣エリア

発生農場等における防疫作業の従事前に防護具を装着する場所。(長靴を再利用

する場合はこのエリアは長靴を履いた後をグレーゾーンとして設定する。)

(エ)手洗いエリア

防疫作業終了時または休憩時の防護具脱衣後に手洗いを行う場所。

(オ)休憩エリア

飲食を含む休憩・輸送バス到着まで防疫作業従事者の一時待機を行う場所。

(カ)救護エリア(救護所)

防疫作業従事者等にけがや体調不良が発生した場合に応急処置を行う場所。

(キ)仮設トイレエリア

仮設トイレを設置する場所。

(ク)輸送バス乗降エリア

防疫作業従事者等を輸送するバスを停留させる場所。

(ケ)消毒エリア

テント基地に出入りする車両等の消毒を行う場所。

## イ グレーゾーン

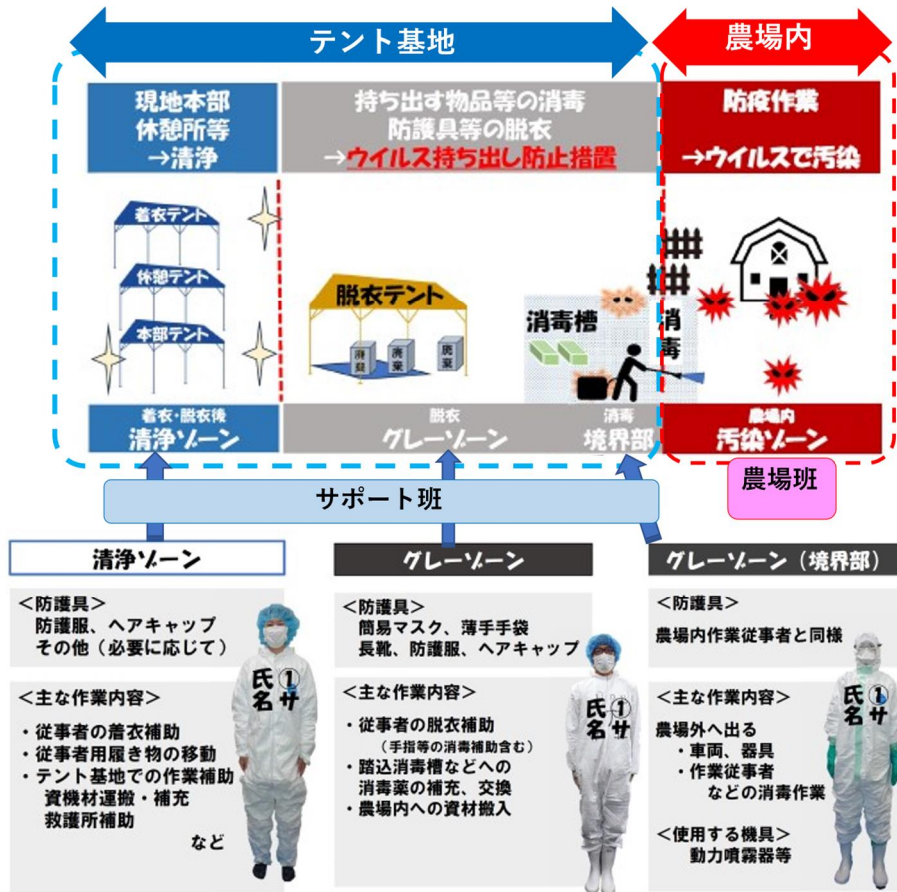
(ア)消毒エリア

防疫作業の従事後に、従事者の全身および靴底を消毒する場所。汚染ゾーンから持ち出す物品を消毒する場所。

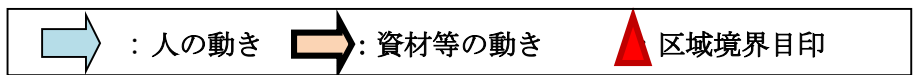
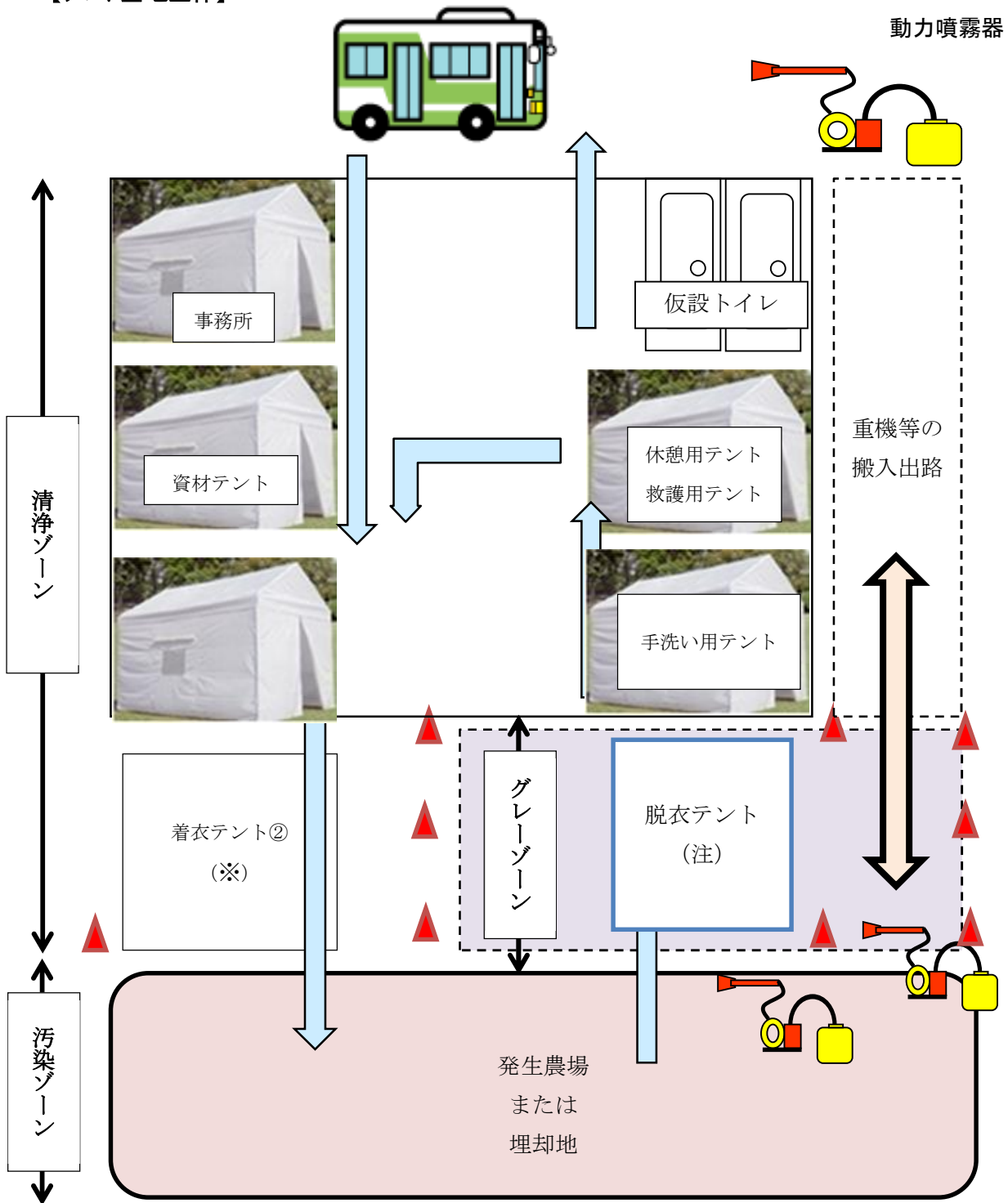
(イ)防護具の脱衣エリア

発生農場等における防疫作業の従事後に防護具を脱着する場所。

【テント基地のゾーニングと作業者の装備】

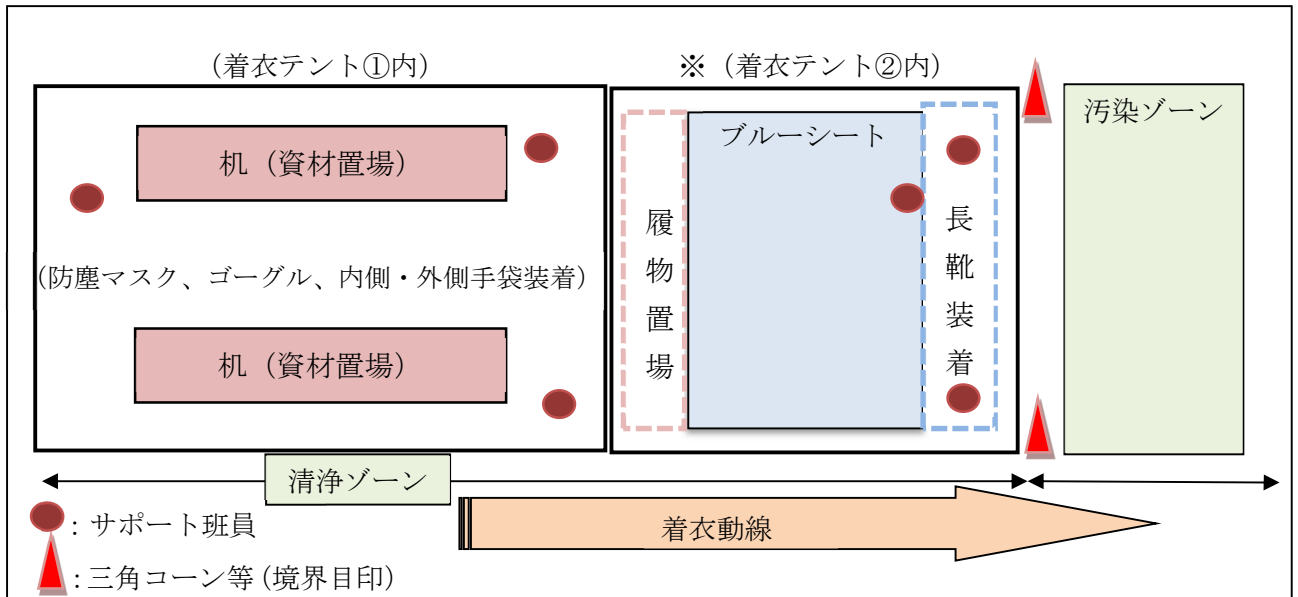


【テント基地全体】



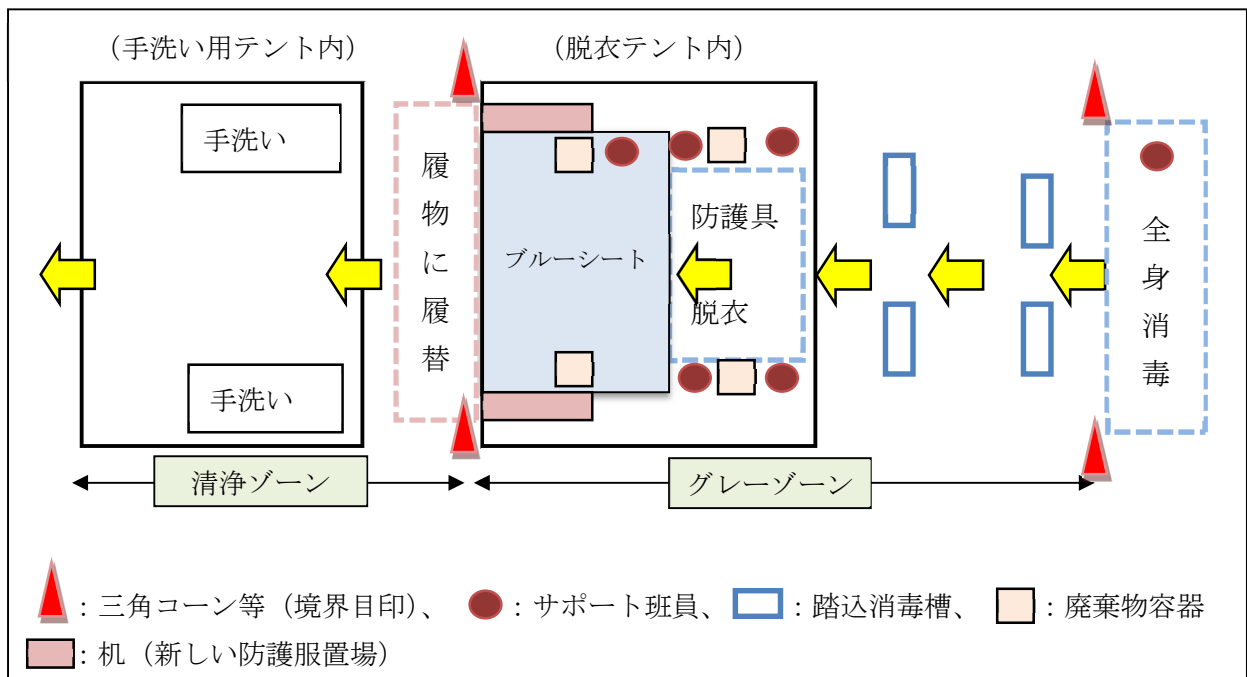
注：着衣および脱衣テントの詳細については「別冊1 防護具着脱手順」参照

【入場時の動線例】



※長靴を再利用する場合には、長靴装着後はグレーゾーン

【退場時の動線例】



(3) 防疫作業従事者の移動にともなう連絡調整等

テント基地、集合場所の家畜防疫連絡調整員は、防疫作業従事者輸送用の車両の発着等について連絡調整を行う。入場の際、テント基地が混雑する場合は、次クールの防疫作業従事者を、輸送用バス内で待機させる。

現地防疫対応班集合場所係は、防疫作業従事者を輸送するバスへの乗降の際の誘導、安全確保、車両消毒等を行う。また、テント基地からの乗車の際には、ブーツカバーの使用やスリッパの履き替え等により車内の汚れ防止に配慮する。

## 【集合場所】

集合場所では、防疫作業従事者が集合し、作業従事前後の健康調査や作業準備を行う。

### 【対応班・係】

- ・ 現地防疫対応班集合場所係(現地応援隊含む)
- ・ 現地保健班
- ・ 県防疫対応班集合場所係(家畜防疫員)
- ・ (必要に応じて配置:家畜防疫連絡調整員)

#### (1) 集合場所の設営

ア 現地防疫対応班調整係が確保した会場を確認し、設営を行う。

イ 設営は、第1クールの防疫作業従事者が集合するまでに設営を完了する。

### 【集合場所のレイアウト(例)】

#### <防疫作業従事前の作業>

- ・ 受付
- ・ 健康調査
- ・ 班分け(班長指名)
- ・ 手荷物の預かり、管理
- ・ 防護服、キャップ着衣
- ・ 作業内容説明

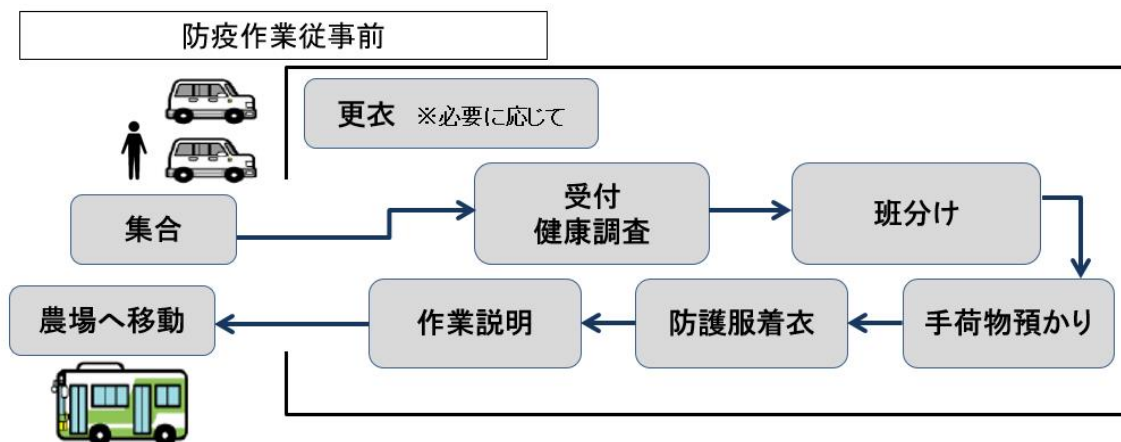
#### <防疫作業従事後の作業>

- ・ 健康調査、抗ウイルス薬の予防的投与(処方)
- ・ 手荷物の返却

#### <その他>

- ・ 更衣、食事等

【集合場所における作業従事前の動線例】



(2) 防疫作業従事者の集合

県防疫総括班は、防疫作業の開始時間に基づき、健康調査や防護服着衣、移動に要する時間を勘案して集合時間を決定し、県庁各部局主管課および各地域対策本部を通じ、防疫作業従事者に通知する（農場への出発時間の概ね1～2時間前を集合時間の目安とする）。

（参考：健康調査の結果、作業不適と判断された防疫作業従事者への対応）

作業不適と判断された作業員には、集合場所リーダー、家畜防疫員、健康調査担当者との協議のうえ、本人の健康状態等に応じて集合場所の運営補助、帰宅等を指示する。

(3) 防疫作業従事者の健康管理

ア 班分け

家畜防疫員は、班分け札を事前に準備する。班分け札は、防疫作業従事者一人一人に班分けの結果を記載して配布するもので、ラベルシール等で作成する。県防疫対応班総務係が決定した防疫作業従事者の配備計画に基づき、防疫作業従事者を振り分ける各班の必要人数分を作成する。

【班分け札の見本】

①クール  
農1

②クール  
サポ

③クール  
埋

家畜防疫員は、防疫作業従事者リストに記載される従事場所等の制限および集合場所で実施する健康調査(※)により示された条件に従い、防疫作業従事者を適切な班に振り分け、従事場所および作業に制限がある場合には、班分け札に追記する(別紙1参照)。

※ 健康医療福祉部局担当課が別途定める健康調査マニュアルに基づいて実施する

【班分け札の見本(従事場所および作業に制限がある場合)】



家畜防疫員は、班分けの結果について防疫作業従事者本人に伝えるとともに、班分け札を渡して着衣の胸部に貼るよう指示する。また、防護服への記入の際にもれなく記載するよう指示する。

#### イ 防護服への記入

防疫作業従事者は、作業従事場所および作業内容に制限のある場合、防護服への氏名、班名等の記入に合わせて、制限内容についても明示する(別紙2-1、2-2参照)。

集合場所係員は、必要に応じて防疫作業従事者を補助する。

#### (4) 防疫作業従事者の移動にともなう連絡調整等

ア 第1クールの防疫作業従事者は、病性判定までに出発準備を整え、集合場所に待機する。防疫措置開始時間に合わせ、家畜防疫員の指示により、農場への移動を開始する。

イ 集合場所、テント基地の家畜防疫連絡調整員は、防疫作業従事者輸送用バスの発着等について相互に連絡調整を行う。(ただし、集合場所に家畜防疫連絡調整員が配置されない場合は、現地防疫対応班集合場所係が行う。)

ウ 現地防疫対応班集合場所係は、集合場所で防疫作業従事者リスト(別記様式3)を印刷して防疫作業従事者の班長に手渡し、移動前後の人員確認、点呼等を実施するように指示および補助する。また、防疫作業従事者リストをテント基地の家畜防疫員に手渡すように指示する。

#### (5) バスへの対応

ア 現地防疫対応班集合場所係は、農場等までの経路、バスの乗降場所、消毒ポイ

ント等について、バス運行者に指示する。必要に応じてバスに添乗する。

イ 現地防疫対応班集合場所係は、必要に応じて、バス車内の汚れ防止対策に必要な履き替えようのスリッパ、ブーツカバー等をバスに積載する。

ウ 現地防疫対応班集合場所係は、以下の時バスのタイヤ周辺の消毒を行う。

- ・ 農場においてバスが出発する時(防疫作業従事者が乗車した後)
  - ・ 集合場所において農場からバスが到着した時(防疫作業従事者が降車する前)
- そのために必要がある場合は、バスの車内に蓄圧式噴霧器を積載する。集合場所に消毒ポイントが設置されている場合は、消毒ポイント係が車両消毒を行う。

# 条件付き作業者の班分け・配置場所

班	配置場所		作業内容	従事者リスト	個人票		
				従事場所を制限	軽作業のみ従事可	感染鳥類等に接触しない作業のみ従事可	鳥類を飼育
サポート班	テント基地	清浄ゾーン	防護具の着衣補助	○	○	○	○
			テント基地での作業補助 (資機材の運搬、補充、救護所補助等)				
		グレーゾーン	防護服の脱衣補助 (手指消毒補助含む)				
			消毒薬の補充、交換				
			農場内への資材搬入				
グレーゾーン (汚染ゾーンとの境界部)	消毒作業(従事者や車両等) ※防護服はフル装備	×					
農場班	農場内 (汚染ゾーン)	家畜の殺処分作業	×	×	×	×	
		汚染物品(卵、飼料、鶏糞等) 回収作業					
		消毒作業					
埋却地班	埋却地(農場外含む) (汚染ゾーン)	埋却作業(消石灰散布補助、 記録)					
焼却地班	焼却施設等 (清浄ゾーン)	焼却作業(密閉容器の運搬、 投入等)	×	×	○	○	
防護服への記入				サポ 軽	サポ S		

参考：防疫作業従事者リスト

クールごとに防疫作業従事者を選定、リストを作成し、県防疫総括班（畜産課）から送付。

集合場所において班分けをする際は、 の項目を確認のうえ実施すること。

別記様式 3

／ 枚目

\*動員No.は第1クールから通しの番号とする

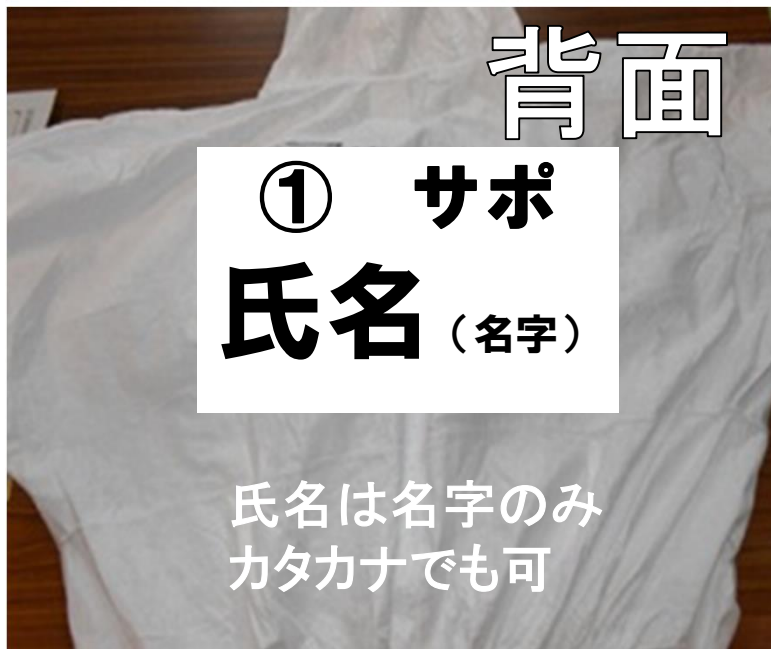
第〇クール 防疫作業従事者リスト

\*No.はクールごとNoとする

動員 No.	No.	所属	職名	氏名	性別	従事場所 の制限	集合場所班分け記載欄	
							班名	特記事項(作業の制限・班長など)
1	1							
2	2							
3	3							
4	4							
5	5							
6	6							



# 防護服への記名 (2枚)



防護服2枚とも

・ 前面および背面

・ 作業クール ( ○ )

班、氏名 (名字) を記入

【班記載例】

農場1班: 農1

サポート班: サポ

埋却地班: 埋

# サポート班で作業等が制限される 場合の班名の記載

<ul style="list-style-type: none"><li>・ グレーゾーンのうち汚染ゾーンとの境界部 <b>不可</b> (防護服のフル装備が必要な消毒作業等<b>不可</b>)</li><li>・ 軽作業のみ従事可</li></ul>	サ <b>軽</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 清浄ゾーンのみ可</li></ul>	サ <b>S</b>

